

私たちは「よりよい学童クラブ」を目指して活動しています

連協ニュース

西東京市学童クラブ連絡協議会

2005/No.

3

ブログのURL <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

CONTENTS

第1回 会長会報告	1
7月定例委員会報告	
子ども福祉審議会報告2	
北原児童館と学童クラブ	2
こどもまつり実行委員会より	
児童課懇談会報告	
簡単料理教室	3
情報コーナー	
「日本の学童ほいく」を読んで	
事務局ニュース	4

第1回 会長会報告

8月27日に22学童クラブの父母会会長やその代理の方が参集して、会長会が開催されました。

会長会は、対市交渉への意見集約、及び各学童クラブや父母会の運営状況について情報交換を行い、今後の父母会活動への参考にしていただく会として開催しています。

まず、連協の活動報告と市内の学童クラブの現状と今後について、次いで秋以降の連協主催の行事について説明がありました。後半は、各学童クラブの会長から、対市交渉に向けての意見や要望、父母会活動や運営におけるよい点や問題点などを報告していただきました。

2時間という限られた時間でしたが、各会長からのご意見やご要望はとても貴重なものでした。対市交渉の要望事項として要望書にまとめていくと共に、今後の定例会等の議題として取り上げていきます。例えば、いくつかの学童クラブからは、父母会活動への関心が薄れているのではないかというお話を伺いました。逆に、活動が盛んであるという学童クラブもありました。学童クラブに通う子ども達のために父母会はどのような活動をしていくのがよいか、考えていく必要があります。また、民間委託や雇用止め問題等、今後の学童クラブの方向性にかかわる問題について、情報が不足しているというご意見もいただきました。現状では定例会や連協ニュースでタイムリーな情報をお知らせしていますが、今までの経過や他市の状況などもお知らせできるように工夫していきます。

今回の会議の反省点として、時間の制約のため会長間での話し合いが持てなかったことが挙げられま



す。今年度はもう1回会長会を企画する予定で、その際には十分に議論ができるように議事運営を工夫したいと考えています。

主な要望事項

- ・保育時間の延長
1日保育日は8時～19時まで、平日は19時までにしてほしい。
- ・指導員の雇用の安定
5年雇用止めをやめ、指導員の雇いを安定し、保育の質の向上を図ってほしい。
- ・長期休みの昼食に給食のようなものを出してほしい。
- ・父母会の連絡用にウォールポケットを設置してほしい。（指導員には頼めないで配布の方法がない）
- ・施設が古い、狭い。

7月定例委員会報告

7月16日に田無総合福祉センターにて第2回の定例会が開かれ、以下のような議題について報告や話しがありました。

- ・会長会の開催のお知らせをし、その際に話合いの題材となる対市懇談会に向けての要望の提出をお願いしました。各学童父母会からの要望は連協事務局でまとめて、対市懇談会の前に児童課に提出します。
- ・学童めぐりツアーの報告をしました。今回はプロジェクターを使用しました。このような報告のやり方は初めての試みです。プロジェクターによって大きく映し出された各学童の写真を見ながら、実際に見てみて良かったところ、疑問に感じたところを説明しました。口頭でのみの説明と違い、目で見てもらうことで、出席の皆さんにはご理解いただき易かったようです。
- ・今定例会では、自由討論の形で各父母会での現状報告や話題を発表していただきました。「不審者が出た場合」「夏休みの学童における“中抜け”」についてなど活発な話し合いが行われました。

他に第1回のこどもまつり委員会と7月7日に開催された子ども福祉審議会についての内容をお知らせしました。

子ども福祉審議会報告2

「学童クラブ」民間委託、結論先送り！

8月17日、「今後の西東京市学童クラブ事業の運営のあり方について」を議題とした二回目の子ども福祉審議会が開かれました。連協からは、伊藤副会長、中曽根が委員として出席しました。また、菊池事務局長、田中北芝久保会長が傍聴しました。

当初の予定ではこの日の話し合いで答申をまとめることになっていましたが、あっさりと、次期（17年9月～19年8月？）の子ども福祉審議会に先送りして、じっくりと議論をすることになりました。

「施設運営の包括的なアウトソーシングの検討」という運営の見直しは、引き続き市の課題となっていますが、少し考える時間ができたように思います。

嘱託員による現状の学童クラブの何が良くて、何が不十分なのか。民間委託で不安なことは何なのか、どうすれば不安は解消できるのか。放課後の子どもの居場所は学童クラブだけで良いのか、学童クラブでなければ対応できない固有の役割は何なのか。なかなか「これだ」という答えは出ないのかもしれませんが、定例会などを利用して保護者同士が話し合っ、ひとつでもふたつでも私たちが望む方向を共有し、西東京市らしい学童クラブを描き出していく時間として使いましょう。（向台第一・中曽根）

北原児童館と学童クラブ

いま、北原児童館が建替えを行っています。私は建替えが行われるという情報を知るまで北原に児童館があるのを知りませんでした。連協の事務局に関わっている関係上、市内全ての児童館は把握していると思っていたのですが……。原因は児童館には必ずあるはずの学童クラブが、どういう経緯か北原にはなかったからです。しかし今回、立替ということになり、都から助成金をもらう関係から、北原児童館内にも学童クラブを設置することになりました。全国的には縮小の方向にある学童クラブを新設するというのは画期的なことです。

北原児童館は学校区の境にあるので、複数の学校から通うことができます。エリア的には谷戸、みどり、田無、けやき第二、本町第二の学童クラブに通っている人が行ける範囲ということでしょうか。みどり以外、どこも定員を大幅に超過しています。北原学童クラブに通う子どもたちが増えれば定員超過問題も多少改善されるのではと期待しています。

当所、北原児童館を指定管理者制度を使って運営する（つまり民間委託）という話でしたが、前述の通り当面は市が直接運営することになりました。しかし将来的には民営化の対象になります。

来年4月に開所予定とのこと。しばらくは注目していきたくと思っています。（事務局長 菊池）

子どもまつり実行委員会より

実行委員会も第3回まで終了し、当日まで残すところ後2回となりました。次回10月1日の第4回ではほぼ全体の形が出来上がってくると思います。西東京になってからも既に4回を数えているだけあり、各学童の出店準備もとてもスムーズに流れているような印象を受けます。毎年品物を仕入れていると、仕入先との関係も良くなるでしょうし学童担当者が替わっても引き継ぎがスムーズにいく場合も多いのではないのでしょうか。

今年の会場の谷戸小も、一昨年に一度やっているということもあり、とても気持ち良く御協力いただけそうです。やはり長く続けるということは、それだけで大きな財産になりますね。

また学童によっては、去年までとは違う新しい試みを行うところもあり、こちらも保護者の皆さんの意欲を感じています。

まだまだ準備は続きますが、皆さんと一緒に良い一日にしたいと思います。よろしくお願ひします。疑問、質問、ご意見等々、下記の実行委員長メールアドレスまでどしどしお寄せ下さい。

shibakawa@abelia.ocn.ne.jp

児童課懇談会報告

8月3日、連協役員が児童課を訪れ、定例委員会で話されたことなどを中心に懇談会を持ちました。主に話し合われたのは以下の通りです。

1. 三多摩研究集会で指導員と父母の協働で西東京らしい分科会をやりたい。(連協)
→ 児童課としては会場取りなどで協力していくが、指導員の公務での参加はしない。(児童課)
2. ひばりが丘に設けた分室はなるべく専有スペースとして確保してほしい。近隣の住宅もまだ増えていくので、今後も児童数の増加が考えられる。(連協)
→ 「公共施設の有効利用」と考えているので、学童クラブとして使われていない時間帯は乳児クラスを行う。(児童課)
3. 田無学童の分室を作ってもらうことは評価。保護者との話し合いをもっとしてほしい。(連協)
→ 現在準備中で、9月に開設予定。30名前後の入所となる。「分室ニュース」などでお知らせを出したが、保護者にうまく伝わっていなかったようだ。(児童課)
4. 人数が多いため、テーブルを使わずにおやつを食べているところがあるので対処してほしい。(連協)
→ 衛生面で問題があるのでしっかり指導していきたい。(児童課)
5. 今年度で雇用期限がくる嘱託職員がでてくる。雇用条件が悪いと良い指導員が他市に引き抜かれ損失となったり継続性がなかったりするので、給料等の見直しはできないのか。(連協)
→ 今年度で満期となる嘱託職員については、希望者には再試験を受けてもらい再雇用するのは市の統一見解。嘱託職員の給与は固定給で昇給していかないが、H17. 4/1～の給与見直しで他の部署はほとんど減額だったが、指導員は据え置きになっている。(児童課)
6. 不審者情報があったときの対応が各クラブでまちまちだ。(連協)
→ 不審者情報があったときは家の近くまで指導員が送っていくように指導している。
これからも話し合いを持っていきたいと思っています。(事務局長)

食いしん坊うこうの簡単料理教室

★キャベツとソーセージのさっぱり煮
電子レンジだけで出来るとっても簡単な料理です。
短時間で出来ますよ。(調理時間15分)

◆材料(4人分)

キャベツ 250g たまねぎ 1/4個
ソーセージ8本
ドレッシング
サラダ油 大さじ11/2 レモンの絞り汁 大さじ2
砂糖 小さじ11/2 塩 小さじ1/2 こしょう少々
パセリのみじん切り 少々

◆作り方

1. キャベツは長さ5～6cm、幅5mmの細切りにする。たまねぎは薄切りにする。ソーセージは斜めに切り目を付ける。
2. 耐熱性のボールにドレッシングの材料を混ぜ、キャベツとたまねぎを加えてよく混ぜる。ラップをかけて電子レンジで2～3分加熱する。
3. 取り出して全体を一度混ぜ、ソーセージを入れて同様に2～3分加熱する。皿に盛り、パセリのみじん切りをふって、出来上がり！

情報コーナー

★「こどもまつり 第4回 実行委員会」開催のお知らせ！

こどもまつり実行委員会も本番間近となり、一段と気合が入ってきました。

今回は下記の日程で行いますので、各父母会のこどもまつり担当の方は、ご出席下さるようお願いいたします。

日時：2005年10月1日（土） 19：00～
会場：田無総合福祉センター 4階 娯楽室

★連協ブログができました。

ブログを作りました。インターネット上の日記が発達したものの、ホームページより簡単に更新ができます。今後、定例会の開催などのお知らせはブログで行いますので、そちらにアクセスしてください。

ブログURL <http://blog.goo.ne.jp/renkyo1925/>

『日本の学童ほいく』を読んで

今年から学童のことを少しでも理解できるかなと、『日本の学童ほいく』を購読しています。

最新の9月号は「学力」の特集でした。何年か前に「ゆとり教育」とかいていたのに最近は「学力低下」が問題になっているんですね。みんな塾に通っているはずなのに……。親にとっては深刻な問題ですね。結局、受験のためだけの学習なのでしょうか？

しかし、この学童ほいく誌を読んでいると、学童に通っている子供たちの実にいきいきとした様子が、保護者や指導員さんのお話を通して伺うことができます。子供たちは、いろいろな遊びや、学年の違う友達と一緒に過ごすことにより、さまざまなことを学んでいるんですね。それに保護者の方々の体験談もたいへん参考になります。

子供に一方的に勉強を押し付けるのではなく、日々の生活から自然と養われていくものは、子供の力になっていくんでしょうね。

みなさんも他の学童の保護者の方や指導員さんのお話を秋の夜長に読んでみませんか・・・

本町学童クラブ 小泉美智子



「日本の学童ほいく」

購読料：3960円（一年間）

お申し込み <http://www.tonpo.net/gakudou/> 又は各父母会連協担当まで

事務局ニュース

◆今年の会長会にも多くの方が参加してくださいました。父母会のことなど熱く語っていただき、とても参考になりました。ありがとうございました。

◆ちょうど夏休みだったので子ども福祉審議会に傍聴にいきました。民営化について結論がでるとのことでしたが、議長(座長?)の方は始めから次期の審議会の話などをして決めようという気がまるで感じれませんでした。案の定次期の審議会で話し合う、つまり継続審議に……。せっかく気合入れていったのにちょっとがっかりでした。まあこちらもしっかりと話し合う時間が出来てよかったのですが……。(菊池)

発行：西東京市学童クラブ連絡協議会

住所：西東京市柳沢2-8-10-108 TEL 0424-67-1883

発行者：田中 謙 (会長)

発効日：平成17年9月17日

編集：菊池 田中 伊藤 永井 宮下
熊田 佐藤 片井木 他

メール：renkyo@tonpo.net

メーリングリストもあります。下記ホームページから申し込んでください。

<http://www.tonpo.net/gakudou/>